

## 早春! はねず踊りと今様

小野小町ゆかりの随心院で3月30日(日)に「はねず踊り」が行われます。「はねず踊り」は、小野小町を慕う深草少将が百夜通いをした悲

恋を、わらべの歌に合わせ、はねず(薄紅)色の小袖をまとった少女たちが可憐に踊る催しです。

●時間 / 3月30日(日) ①午前11時 ②午後0時30分 ③午後1時30分 ④午後3時(計4回)

●場所 / 随心院境内(山科区小野御霊町35、地下鉄小野駅から徒歩5分)

※雨天の場合は能の間

●入場料 / 大人1,000円、中学生800円(拝観、梅園入園料含む)

●問合せ先 / はねず踊り保存会(☎571-0025)



## ふれあい「やましな」2014区民ふれあい文化祭 区民ギャラリー受賞者決定

2月23日に開催された区民ふれあい文化祭「区民ギャラリー」に出展された作品223点の中から、各部門の「ふれあいやましな賞」受賞作品(最優秀作品)を紹介します。

●問合せ先 / ふれあい「やましな」実行委員会事務局 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

### ふれあいやましな賞

#### リサイクルアート

##### 一般の部

「昭和風情の名残り(長屋住居)」  
中野 忠儀さん



写真 一般の部  
「みてごさる」  
大久保 和夫さん

#### 書道

小学生・中学生の部  
安祥寺中学校3年生  
村上 奈々子さん



#### 絵画

##### 保育園・幼稚園の部

「消防車」  
其枝幼稚園5歳児  
芝原 葉奈さん



小学生・中学生の部  
「風景画」  
勸修中学校2年生  
後田 朝希さん



一般の部  
「温もり」  
橋本 都美子さん

一般の部  
「送友人(李白)詩」  
金丸 修(凌石)さん

## 第39回 山科義士まつり

写真コンクール  
入賞作品

昨年12月14日に行われた山科義士まつりをテーマにした写真コンクールにおいて、上位入賞された方の作品を紹介します。

●問合せ先 / 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

### 山科義士まつり実行委員会会長賞



「出陣だ」  
山川 一成さん

### 山科区長賞

「出立」吉川 浩美さん



大石神社賞 「義士祈願」谷 泰雄さん



### 京都新聞社賞

「ニコニコ勢揃い」  
廣瀬 公一さん



## 入選



「急げ! 吉良邸へ」  
木村 純子さん



「大石内蔵助一行」  
奥田 光男さん



「いざ討ち入りへ」  
塩見 芳隆さん



「小さな戦士」  
木村 健太さん



「まつりの始まり」  
中山 藤昭さん



みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

## 第23回 連載 区民活動きずなリレー

### ~若い力で山科を盛り上げる~ 山科夢舞台

(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)

大学生や高校生が協力して作り上げる「山科夢舞台」。音楽、ダンスなどのステージや福祉や文化活動の発表の場として毎年開催され、先月2日に開催された第10回「山科夢舞台」は600人の参加者で賑わいました。

今回の実行委員長を務めたのは京都薬科大学の柴さん。この企画をやり終えて感じたことなどを語っていただきました。「出演者の家族や友達など、多くの方が見に来てくれてやりがいがありました。

若い世代だけでなく、子どもや大人と交流もでき、運営側としても楽しめる舞台でした。」柴さんが実行委員会に参加したきっかけは3年前。「1回生の時に大学の仲間から誘ってもらいました。大学生と高校生が一緒になって何かを作るというのは全く初めての経験でしたが、高校生の勢いがすごくて若さのパワーを実感しています。」

30人ほどの実行委員のうち20人は洛東高校・東稜高校の生徒だそうです。



大学生と高校生による実行委員会

です。実行委員会での苦労をお聞きすると「元気のいい高校生が多いんですが、いざ意見を出すととなかなか自分の意見が言えないんですよ。いいアイデアを持ってるんですが。」それでもみんなの意見を積み重ね、コンセプト、出演者の検討、チラシのデザインなど、ひとつひとつ決めていったそうです。

副実行委員長を務めた京都橘大学の高橋さんによると「絆を深めるというコンセプトに基づいて企画したミサンガ作りのコーナーも人気でした。」とのこと。

この「山科夢舞台」は、山科経済同友会の青少年育成委員会がサポートしています。委員長の岸本さんは「形のないものを話し合っ



ステージ(ラバーエンジェル & キッズモンスター)

て形にしていく、そのプロセスが青少年の健全育成です。大学生達は、よく

まとめられましたよ。丁寧にひとりひとりの意見を聞き出していただき、出された意見はなるべく全て活かそうとする姿勢はみんなの勉強になったでしょう。」

柴さんは「岸本さんなど社会人の方とも話すことで、実行委員会はいい経験になりました。こうやって若い世代同士や、学生と社会人がつながっていく場がどんどん山科に広がっていけばいいですね。」と語ります。

●問合せ先 / 区総務・防災担当(☎592-3066)